



NHK大河ドラマで有名となった黒田官兵衛（孝高・如水）の兜を偲んで、3代福岡藩主光之が造らせた「朱漆塗合子形兜」や、官兵衛の息子・長政の「黒漆塗大水牛脇立桃形兜」など、黒田家に伝わった甲冑類には、戦乱の世では実戦の武具として、太平の世では大名家の武功を伝える重宝として、それぞれの時代の「武」に対する考え方が映し出されています。

また、武勲の誉れ高い黒田家の刀剣類は、織田信長から官兵衛が拝領した「圧切長谷部」の名刀や、黒田長政が関ヶ原の合戦の戦功で筑前一国を手に入れたことがその名の由来となった「一国長吉」の大身鎗などが、歴代藩主などの逸話とともに、現在に伝えられています。

初代藩主である黒田長政の生誕450年にあたる本年、黒田家ゆかりの甲冑と刀剣類に秘められた歴史を紐解きながら、軍事からみた福岡藩の歴史と黒田武士の装い・文化をたどります。

# 福岡藩の歴史

黒田家の甲冑・刀剣から見た



重文 黒漆塗大水牛脇立桃形兜

[福岡市博物館所蔵]  
撮影者：藤本健八(甲冑)  
要史康(刀剣)



朱漆塗合子形兜



大身鎗「一国長吉」  
国宝刀名物「圧切長谷部」

- **開催日時**：平成30年11月27日(火)  
14:00~16:00(開場 13:30)
- **講師**：福岡市博物館 事業管理部学芸課  
学芸係長 又野 誠 氏
- **会場**：中央市民センター・3階ホール(500席)  
中央区赤坂2丁目5-8 ☎714-5521  
※公共交通機関でお越しください。
- **参加費**：無 料 (事前申込不要)



地下鉄「赤坂駅」2番出口 または  
西鉄バス「赤坂門」バス停から 徒歩5分  
国体道路「警固町」バス停から 徒歩3分

主催

福岡市中央区総務部生涯学習推進課  
福岡市中央区大名2丁目5-31 ☎092-718-1067

